

2019年12月20日  
九州電力株式会社

## 松浦発電所2号機の営業運転を開始しました — 単機では日本最大規模の出力100万kW —

当社の松浦発電所2号機は、本年6月から発電開始・試運転を行っておりましたが、本日、電気事業法に基づく使用前自主検査を終了し、営業運転を開始しました。

この2号機は、経済性・調達安定性に優れた石炭を燃料としており、最高水準の技術の採用により、発電効率の向上とCO<sub>2</sub>排出量の低減を図っています。

また、再生可能エネルギーの出力変動にも柔軟に対応できる設備となっています。

当社は、今後も「S（安全性）+3E（エネルギーの安定供給、経済性、環境面）」の観点から、バランスのとれた電源構成をベースにした事業運営により「九電グループ経営ビジョン2030」に掲げる低炭素で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 〔松浦発電所2号機の概要〕

	2号機	[参考] 1号機 (1989年6月運開)
所在地	長崎県松浦市志佐町白浜免字開発2091番地1	
出力	100万kW	70万kW
燃料	石炭	
発電方式	超々臨界圧 <sup>※1</sup> 微粉炭火力	超臨界圧 <sup>※2</sup> 微粉炭火力
発電効率 <sup>※3</sup> (低位発熱量基準)	約46%	約43%

※1：発電効率向上を図るため発電用蒸気を高温・高圧化（温度：566℃超，圧力：22.1MPa以上）

※2：発電用蒸気の温度：566℃以下，圧力：22.1MPa以上

※3：低位発熱量基準の発電効率は、燃焼ガス中の水蒸気の発熱量を除いて算定したもの

### 〔主な経緯〕

1998年 1月	環境調査開始
2001年 3月	工事着工（工事計画届出）
2004年 6月	工事中断（電力需要想定が下がったため）
2016年 1月	工事再開（2015年11月工事計画変更届出）
2019年 6月	発電開始
2019年 12月	営業運転開始

以上